

平成 30 年 5 月 18 日

浅田美代子様

公益財団法人動物環境・福祉協会 Eva
理事長杉本彩

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて先日ご依頼いただきました院内集会の御挨拶文を作成いたしましたので、ご確認のほど宜しく願います。

敬具

緊急院内集会にむけてごあいさつ

昨年の 3 月からアドバイザーとして参加した、動物愛護議員連盟の動物愛護法改正に向けたプロジェクトチーム（PT）では、毎回多くの問題点が議論され、先日 5 月 16 日の PT では、条文の素案がまとまりました。また当協会 Eva では、昨年起きた猫の虐待事件をきっかけに短期間ではありましたが、請願署名を集め、衆参議長宛に請願として提出したり、各所に赴き虐待をはじめとした動愛法改正にむけて提言してまいりました。こうした動物問題は、全国の動物愛護団体・個人活動家、そして動物問題について危惧されている方々がみな関心を寄せています。

本日、緊急院内集会を開催してくださいました浅田美代子様はじめ、有志の皆さまには、日ごろから動物問題のために大変なご尽力をいただいております、心から敬意と感謝を申し上げます。

本日のテーマは、8 週齢規制、各種数値規制、繁殖業の免許制ということで、どれも大事な課題です。当協会 Eva には、連日多くの問い合わせのメールやお電話が寄せられます。不衛生なペットショップに犬猫が置かれている。報道された事件について動いて欲しい。テレビで優良ブリーダーとして放映されている繁殖業者の内部告発など、内容は実にさまざまです。通報される事案は氷山の一角で、実際はもっと多くの動物が、飢えや恐怖、苦痛の中でひたすら今を耐え生きていると思われまます。

こんなにも大きく事件として報道されたり、また言葉を持たない動物たちに代わり、私たちがいくら声をあげても、規制強化の一つもできないとしたら、日本の未来は危ういと心底思います。

8 週齢規制、各種数値規制、繁殖業の免許制というのは決して個別の課題ではありません。どれが抜けなくても、繁殖・販売される動物にとって密接な影響を及ぼします。本日の集会でぜひ忌憚のないご意見とご議論のほどお願い申し上げます。